出石樽神輿・お囃子 ～出石町会～

今年（令和６年）の鹿嶋神社例大祭の時、10月19日に出石町会のお祭りでデビューしました。

僕は出石樽神輿です。僕の生い立ちは１年前のお祭りの時に皆さんで飲み干した１斗樽を、小さいお子達の為に神輿を造って楽しい想い出を残してあげてはどう～かと、呑兵衛さん達の声から誕生しました。

そして今年のお祭りで、出石神輿一家の一員として町会の皆さんにお目通りがかないました。

僕のお父さんは大人神輿、お母さんは曳太鼓（山車）、お兄ちゃんは子ども神輿ですが、今年から僕が加わり一家４人が揃っての初お披露目をしました～。

僕の周りには、小さなお坊ちゃん、お嬢ちゃん達が可愛らしい法被姿でたくさん集まって来て、勢いよく元気なかけ声で僕を担いでもらえました～。

「楽しい～！、お祭りワッショイ！！、ワッショイ！！」。

さらに町会第34組のＫさんにご指導を受けている「出石拍子会」の子ども達が、猛練習を積んできた笛・太鼓で見事なアンサンブルを奏でて下さり、僕と一緒にお披露目デビューを果たしました～。

子どものお父さん、お母さん達も満面の笑みで嬉しそうに一生懸命ついて周っていました。

心に残る本当に楽しいお祭りだったと思いま～す。

（市川　記）

出石町会第９回桜祭り

日　時：令和7年3月30日(日)AM11:00～
場　所：西大井三丁目防災広場公園
新一年生、長寿(卒寿)を祝い花見をして町会員の絆も深め合うお祭りです。
模擬店、飲み物販売、バルーンアート、輪投げゲーム、手品公演も有ります、
見に来て参加して下さい。

中学生の主張大会が開催されました！

令和６年12月14日（土）、第24回品川区中学生の主張大会がスクエア荏原ひらつかホールにて開催されました。伊藤学園からは、８年生の増野心香さんが参加しました。

増野さんは「新しいコミュニケーションスタイル」という題目で、ＳＮＳの普及が中学生のコミュニケーションスタイルに「言葉の簡略化」という大きな影響を与え、それにより「相手の気持ちを汲み取り、自分の気持ちを伝えること」が難しくなっているという問題について取り上げました。さらに、この問題に対して、自身の体験を交えながら、「相手の話をしっかり聞き、表情やジェスチャーを交えながらリアクションをとることが大切である」と主張しました。

増野さんは、「上手く主張できるか不安と緊張でいっぱいでしたが、自分の考えをしっかり主張することができて良かったです。また、会場には多くの人が詰めかけており、その中で自分の主張ができたことはとても自信になりました。」と感想を述べてくれました。

他校の参加者も気持ちのこもった主張を展開し、時間があっという間に感じられたほどでした。中学生という多感な時期に、これだけ広い視野で、自分の考えを切実に主張することができた参加者全員に、頼もしさを感じた年の瀬となりました。

（伊藤学園　教諭　津波古健太　記）

昔あそび　地域の大人たちとの交流　（大井第一小学校）

１月24日、１年生の各教室で「昔あそびお礼の会」が行なわれました。12月には、けん玉、コマ、あやとり、お手玉などの伝承遊びを地域（大井鹿島・大井庚塚・大井倉田・大井滝王子町会）の人たちが一緒に楽しむ時間がありました。初めての子どもも多く、この日は時間内で全員がまず体験してみることしかできませんでしたが、子どもたちはこのひと月ほどの間に休み時間などを使って練習してくれていたようです。とても上手にお手玉やあやとりのひもを扱う姿を見せてくれました。けん玉を歌に合わせて披露する子どももいました。その後、昔はやった歌「上を向いて歩こう」を歌ってくれたり、地域の昔話の紙芝居を観たりと、クラスごとに趣向を凝らした交流が行われ、大人たちもとても楽しい時間を過ごしました。かわいいお礼の手紙もいただきました。

子ども時代にこのような昔あそびで目いっぱい遊んだ大人はだんだん少なくなってきましたが、昔あそびには友だちと工夫して遊んだり、技を磨いて競い合ったりできる良さがあります。子どもも大人もいっしょに遊んで、引き継いでいきたいですね。

（松岡　記）

今までありがとう！伊藤幼稚園（最終回）

「♫ １．元気よく　遊んでる　仲良しこよしが集まった　明るい笑顔がいっぱいのみんなの伊藤幼稚園　♫ ２．手をつなぎ　はずんでる　仲良しこよしが集まった　楽しい夢がいっぱいのみんなの伊藤幼稚園」

この歌は、伊藤幼稚園の園歌です。先日、伊藤幼稚園を修了した伊藤小学校の１～６年生に集まってもらい、在園の二人と一緒に歌いました。この歌と共に伊藤幼稚園の思い出がいつまでもみんなの心の中に残っていくことを願っています。

（伊藤幼稚園副園長　坂井憲一郎　記）

＊品川区のホームページでカラー版と既刊がご覧いただけます。